

# だっしゅ!!

第1号  
2012. 2. 8  
発行：日高地方本部青年部  
発行責任者：三浦 香菜子  
(えりも町職)

## 2012 北海道本部青年部 春闘討論集会

2012年1月14～15日に札幌市定山溪で北海道本部青年部春闘討論集会が開催されました。全道から101単組総支部・334人の仲間が結集し、日高地本からは25人の仲間が参加しました

### 春闘って？

春季生活闘争の略。日本では春を新年度の始まりとする慣例があり、新入社員が入ってきたり、賃金が上がったたりするのが4月。そこで1月から3月にかけて、新しい賃金になる前に労働組合が「賃金を上げてくれ!」「労働時間を短くしてくれ!」といった様々な労働条件について経営側と交渉するたたかいのこと。

## 基調講演 『春闘の役割とは？～行動すれば変わる～』

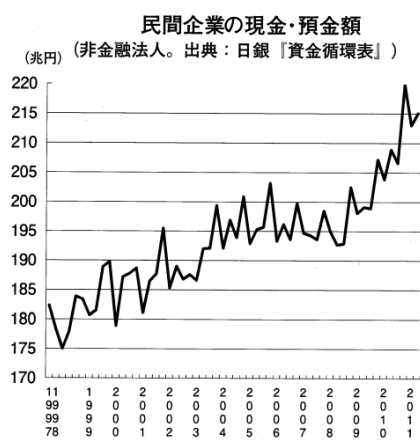
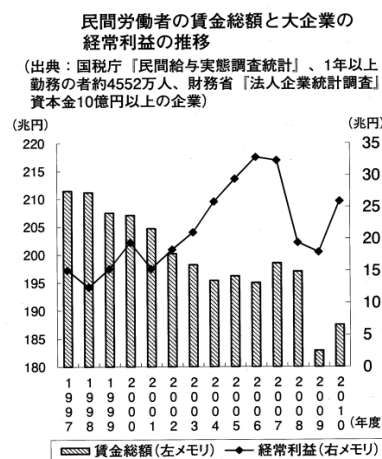


基調講演では、前自治労北海道本部青年部書記長の國島秀和さんより、春闘の意義や大企業が莫大な内部留保をため込む一方で、賃金の切り下げや非正規労働者の増加が進んでいることを話し「私たちが一歩後退すると、相手は二歩前進してくる。人任せではなく自らが声をだし、仲間との思いを共有していれば自信をもって運動できる」と力強く呼びかけました。

國島さんの講演は、全道庁労連青年部長時代の実体験も話され、声を上げていく大切さ『その意味』にも触れ、労働運動の大切さを再確認することができました。

講演後には、「今まで春闘は基本組織だけで取り組んでいたけど、青年層と基本組織の人とはおかれている状況が違うので、青年部として自分たちでも取り組みたいと思った」「非正規の仲間のことを考えた」「自分は独自削減されていないけど、下げられて

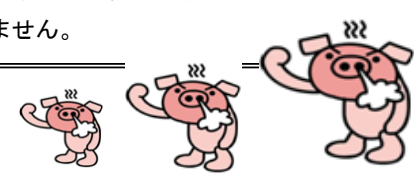
いる人がいるのは許せない」との声がありました。



國島さん講演資料より

(ちょっと曲がってますが…)

労働者の所得は右肩下がりの反比例して、企業の現金・預金額は上がっています。一概に黒字とは言えないものの、2008年に起きたリーマンショックの影響により、賃上げは無理と言っていた経営側。しかし着々と現金・預金額を積み増ししています。そのような資本の企業体制に、私たちが目を向けなければいけません。



## 分散会

分散会討論のなかでは、時間外勤務の問題が多く出されました。「慢性的な超勤」や「サービス残業」などについては、昨年、日高町で開催された夏期交流集会時にも声が出されていたものです。人員不足による労働環境の悪化が、多くの職場で起きています。

賃金については「採用時から独自削減をされていて実感がない」という声が聞かれましたが、「公務員の賃金が地域の賃金水準にも影響を与えるという講演を聞き意識が変わった。自分たちの生活を守るためだけでなく、労働者全体の問題として組合活動に取り組んでいかなければ」との意見もありました。また、我らが日高地方本部青年部書記長の竹内聡座長の分散会では、賃金について不満がないという参加者へ、地本で行なった実損額計算を例にだし、「独自削減0%」という削減率から「マイナス〇〇円」という数字を提示。その金額を自由に使えたと考えたとき、実は我慢をしていたこと

に気づくことができたそうです。

この実損額計算は、昨年の日高地方本部春闘討論集会時に、事前アンケートの項目として参加者に取り組んでもらったものです。その際にも、実際に数字を見て驚いた・これだけ我慢していることに気が付けたとの声がありました。



竹内聡書記長  
(新ひだか町職)

## 全体討論

全体討論では、我らが日高地方本部青年部吉田綱平部長が、堂々の発言。12月に開催した単組総支部代表者会議で報告のあった各単組総支部の活動状況、そして今年度の日高地本青年部の具体的な活動目標について発言されました。



吉田綱平部長  
(新冠町職)

活動目標としては3点掲げています。1点目に『新規採用職員を対象とした学習・交流の取り組み』です。近年、急激に新規採用職員が増加しています。ともに働く新人職員のフォローアップを青年部員が行い、悩みを相談できる職場環境を作り上げることは、青年部の重要な役割であることから、地本で開催する新人学習会等の集会を通し、学習・交流・実践と

いった青年部活動の必要性を理解してもらえよう取り組みを進めていきます。2点目に『外局職員に配慮した運動の展開』です。現在、保育所や病院等で勤務する外局職員については同じ組合員でありながら、ともに運動を進めることが難しい状況です。今年度は、地本で開催する集会などで、外局職員の職種別分散会を作るなど、とりわけ外局職員が参加しやすい集会運営をめざし、ともに運動を進めていくための「きっかけ作り」を進めていきます。3点目は『公務員制度改革について学習を深める』ことです。2013年の公務員制度改革による新たな労使関係制度を見据え、組合員一人一人が今後どのような取り組みをしていく必要があるのか、改めて学習する機会を設けます。

## 日高地方本部青年部春闘討論集会を開催します！！

2012年2月11日～12日、新ひだか町において日高地方本部青年部春闘討論集会を開催します。

この春闘討論集会は2012年度体制がスタートしてから、管内の仲間のみなさんと直接お会いし、ともに学習し交流しあえる最初の集会となっています。

この集会に参加することにより、仲間同士が集まることの大切さを知り、仲間づくり、問題・疑問の共有という青年部運動の原点を確認！改めて春闘に取り組む意義や、2013年からの『公務員制度改革』による『自律的労使関係制度』のスタートにあたり、賃金の決まり方について学び、1年を通じての運動の始点とすること！さらに組合・仕事両方の観点から、交流による地域ネットワークの強化を図り、日常業務での連携に繋がられる集会を目指します！！

大変遅くなりましたが、2012年度の日高地方本部青年部幹事会体制  
&春闘の運営班をご紹介します！



書記次長  
三上貴之：浦河町職  
当日は、司会してます！



受付・会場班  
安田晋也：平取町職



杉山 望：新冠町職



上記、癒し系書記長とヨコシマな部長と共に頑張ってます！インテリ副部長&道本幹事  
黒川雄太：全道庁日高総支部



大高悠貴  
：様似町職

交流班



東亮佑：新ひだか町職



野阪亮太：えりも町職



宇部孝也  
：日高町職

教員班



三浦香菜子：えりも町職



全道庁日高総支部  
選出中

編集後記：地本幹事2年目、今年度は幹事で最年長者となってしまいました…。そして、日高・胆振・空知の3地本からなる『岩見沢地方協枠』で道本幹事に出させてもらっています。この1年は、どこの集会でも基本的に運営側にいると思いますので、よろしくお願ひしますね。